「年中行事(ねんちゅうぎょうじ)」を書こう①(年初)





初詣で(はつもうで)	新年(しんねん)に初(はじ)めて神社(じんじゃ)
	やお寺(てら)にお参(まい)りすること
妻も切り (かきだり)	年の初(はじ)めに一年の目標(もくひょう)などを
書き初め(かきぞめ)	書(か)く行事(ぎょうじ)
お雑煮(おぞうに)	みそやしょうゆと、だしのつゆの中におもちが入って
	いる料理(りょうり)。お正月におせちといっしょに
	食べる
仕事始め(しごとはじ	年の初(はじ)め、最初(さいしょ)に働(はたら)
め)	く日や、最初にする仕事(しごと)のこと
	1月7日「人日の節句(じんじつのせっく)」の朝(あ
七草粥(ななくさがゆ)	さ)に、春(はる)の七草(ななくさ)などを入れて
	食(た)べるおかゆ
成人式(せいじんしき)	その年度(ねんど)に二十歳(はたち)になる人をお
	祝(いわ)いする行事(ぎょうじ)。1月の第2月曜日
	に日本全国(ぜんこく)でおこなわれる

お雑煮	一二日
仕車	書さ
于始为	、初め
	雜者 仕事始

「年中行事(ねんちゅうぎょうじ)」を書こう②(春)



節分(せつぶん)	立春(りっしゅん)の前(まえ)の日で、毎年2月4日
別が(ピンぶん)	ごろ。豆(まめ)をまいたり、食べたりする
	節分(せつぶん)の日に「鬼(おに)は外(そと)、
豆まき(まめまき)	福(ふく)は内(うち)」といいながら豆(まめ)を
	まく行事(ぎょうじ)
	3月3日「桃の節句(もものせっく)」に、女の子の成
ひな祭り(ひなまつり)	長(せいちょう)をいのる行事(ぎょうじ)。ひな人
	形(にんぎょう)をかざったりする
卒業式(そつぎょうし	学校(がっこう)での勉強(べんきょう)を終(お)
き)	えたことを祝(いわ)う行事(ぎょうじ)
入学式(にゅうがくし	学校(がっこう)に入ることを祝(いわ)う行事
き)	(ぎょうじ)
か世日(よいより、7.)	桜(さくら)の花を見て楽(たの)しむ行事(ぎょう
お花見(おはなみ)	U)

入	W	節
学	1	分
式	祭	
	1)	豆
お		ま
花	卒	き
見	業	8
	式	

「年中行事(ねんちゅうぎょうじ)」を書こう③(夏)







	EBEロ マレのばりめエ日 / 取 (ざがのに / ギュる)
端午の節句(たんごの せっく)	5月5日。こいのぼりや五月人形(ごがつにんぎょう)
	をかざったり、男の子の成長(せいちょう)をいのる
	行事(ぎょうじ)をする
	7月7日に行われる行事(ぎょうじ)。笹飾(ささか
七夕(たなばた)	ざ)りに、願(ねが)い事(ごと)を書(か)いた短
	冊(たんざく)をつける
	お盆(ぼん)の行事(ぎょうじ)。先祖(せんぞ)の
精霊流し(しょうろうな	霊(れい)を送(おく)り返(かえ)すため、供(そ
がし)	な)え物(もの)をわらなどで作(つく)った舟(ふ
	ね)に入れて川や海(うみ)に流(なが)す
	水田(すいでん)にイネの苗(なえ)を植(う)える
田植え(たうえ)	こと。本州(ほんしゅう)では5月か6月にすることが
	多 (おお) い
海開き(うみびらき)	海水浴場(かいすいよくじょう)を開(ひら)くこ
	と。本州(ほんしゅう)では7月上旬(じょうじゅ
	ん)が多(おお)い
盆踊り(ぼんおどり)	お盆(ぼん)の時期(じき)におどる、死者(し
	しゃ)を供養(くよう)するためのおどり

海	精	端
開	霊	午
さ	流	0
	U	節
盆		句
踊	田	
1)	植	七
	え	9

「年中行事(ねんちゅうぎょうじ)」を書こう④(秋)



彼岸会(ひがんえ)	3月の春分(しゅんぶん)の日や、9月の秋分(しゅう
	ぶん)の日のころにおこなう、仏教(ぶっきょう)の
	行事(ぎょうじ)
太声之 (マスナギン)	季節(きせつ)が変(か)わるのに合わせて、着
衣更え(ころもがえ) 	(き)る服(ふく)を変えること
月見(つきみ)	満月(まんげつ)を見て楽しむこと。特(とく)に
	「中秋(ちゅうしゅう)の名月(めいげつ)」を、お
	だんごなどをお供(そな)えして、見ること
中秋の名月(ちゅうしゅ うのめいげつ)	中秋(ちゅうしゅう)は、昔(むかし)のカレンダー
	で8月15日で、秋(あき)の真(ま)ん中の月の真ん
	中の日。その日に上る満月(まんげつ)のこと
神嘗祭(かんなめさい)	その年にとれたお米(こめ)を神(かみ)さまにささ
	げて、恵(めぐ)みに感謝(かんしゃ)するお祭(ま
	つ) り
葡萄狩り(ぶどうがり)	秋(あき)にブドウを実(み)をとる遊(あそ)び

神曾	月見	彼岸
祭		会
++	中	لـ
葡萄	秋の	化更
勒狩	(1)	文え
1)	月	/ L

「年中行事(ねんちゅうぎょうじ)」を書こう⑤(冬)







七五三(しちごさん)	子どもの成長(せいちょう)の祝(いわ)う行事
	(ぎょうじ)。数(かぞ)えで、男の子は3歳(さ
	い)と5歳、女の子は3歳と7歳になる年、11月15日に
	神社(じんじゃ)にお参(まい)りする
	11月の「酉(とり)の日」に、年2回(かい)か3回、
酉の市(とりのいち)	神社(じんじゃ)の前(まえ)に立つ市(いち)。熊
	手(くまで)などが売(う)られる
煤払い(すすはらい)	年末(ねんまつ)に天井(てんじょう)などにたまっ
	た煤(すす)をきれいにすること。大掃除(おおそう
	じ) のこと
50± (1.1.0)t)	年末(ねんまつ)、お正月の飾(かざ)りや食べ物な
年の市(としのいち)	どを売(う)るための市(いち)
	年末(ねんまつ)のこと。また、この一年お世話(せ
歳暮(せいぼ)	わ)になったお礼(れい)として、年末に贈(おく)
	り物(もの)をすること
年越し蕎麦(としこしそ ば)	12月31日「おおみそか」に食べるそば。そばは細(ほ
	そ)く長(なが)く伸(の)びることから、長生(な
	がい)きの願(ねが)いがこめられている

歳暮	火ナ	某ム	+]	1
	1	1		
年				
越	生		Ē	9
		7		7
蕎	F	5	F	T
麦				